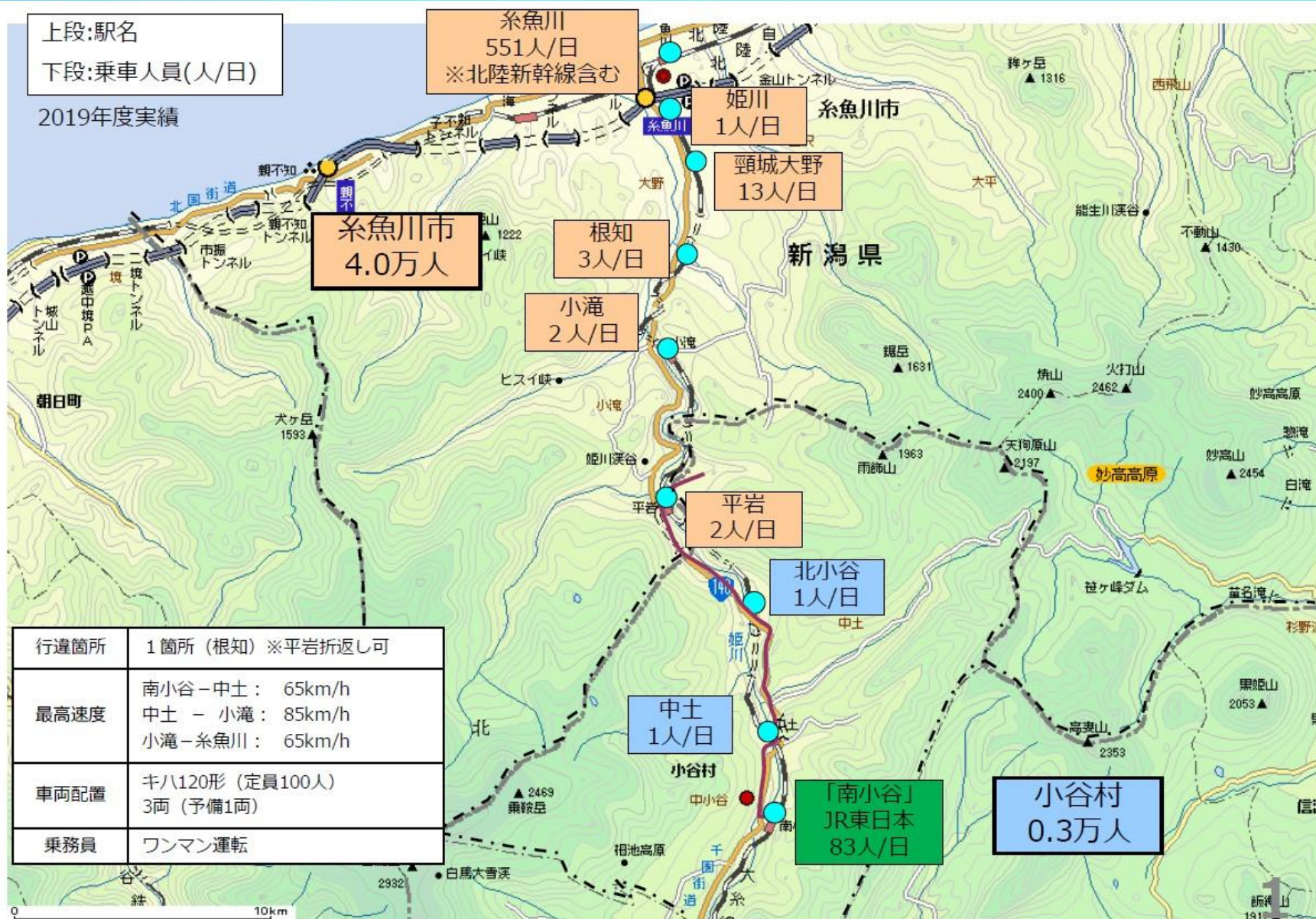
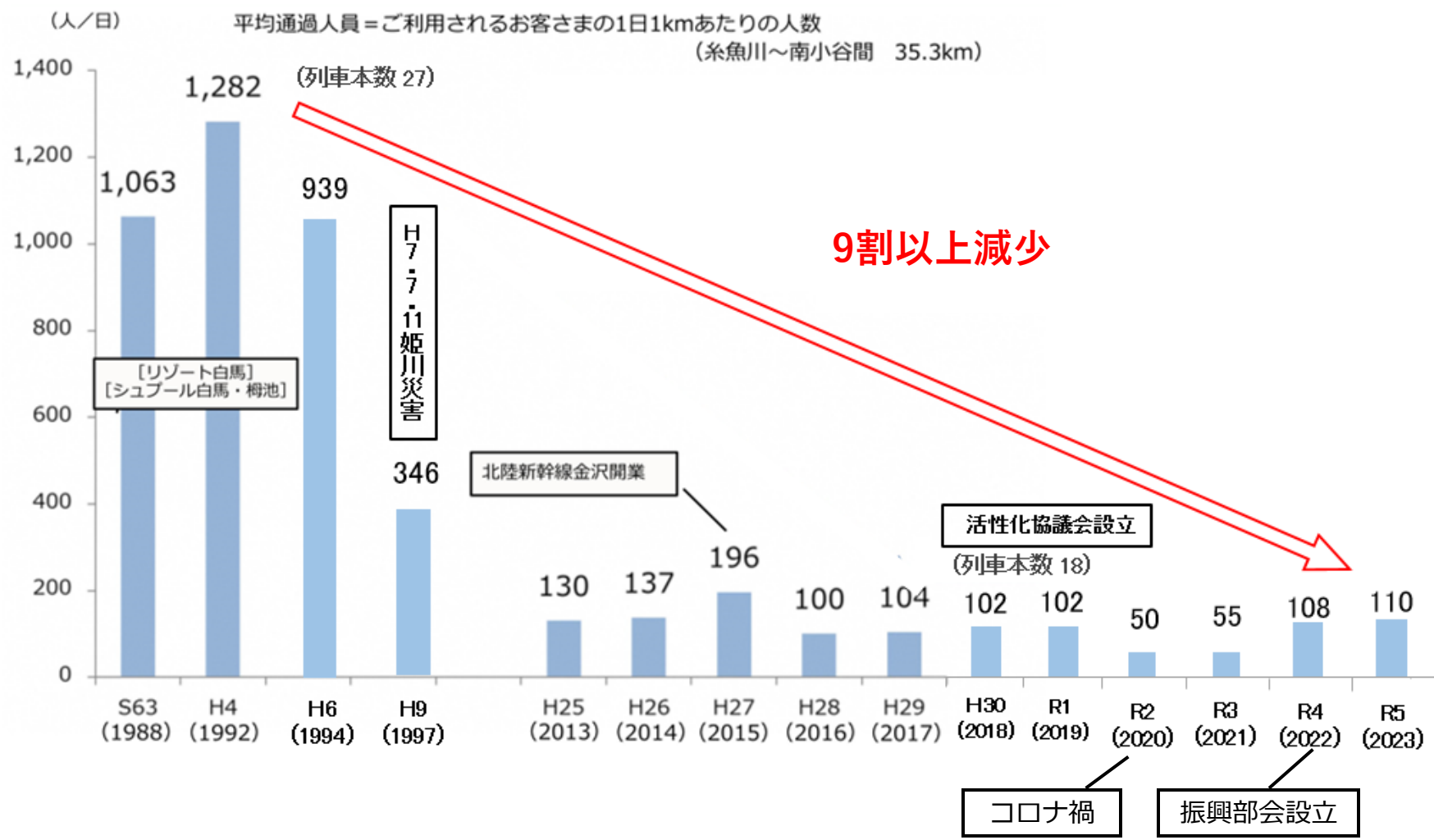


大糸線（糸魚川～南小谷）の概況

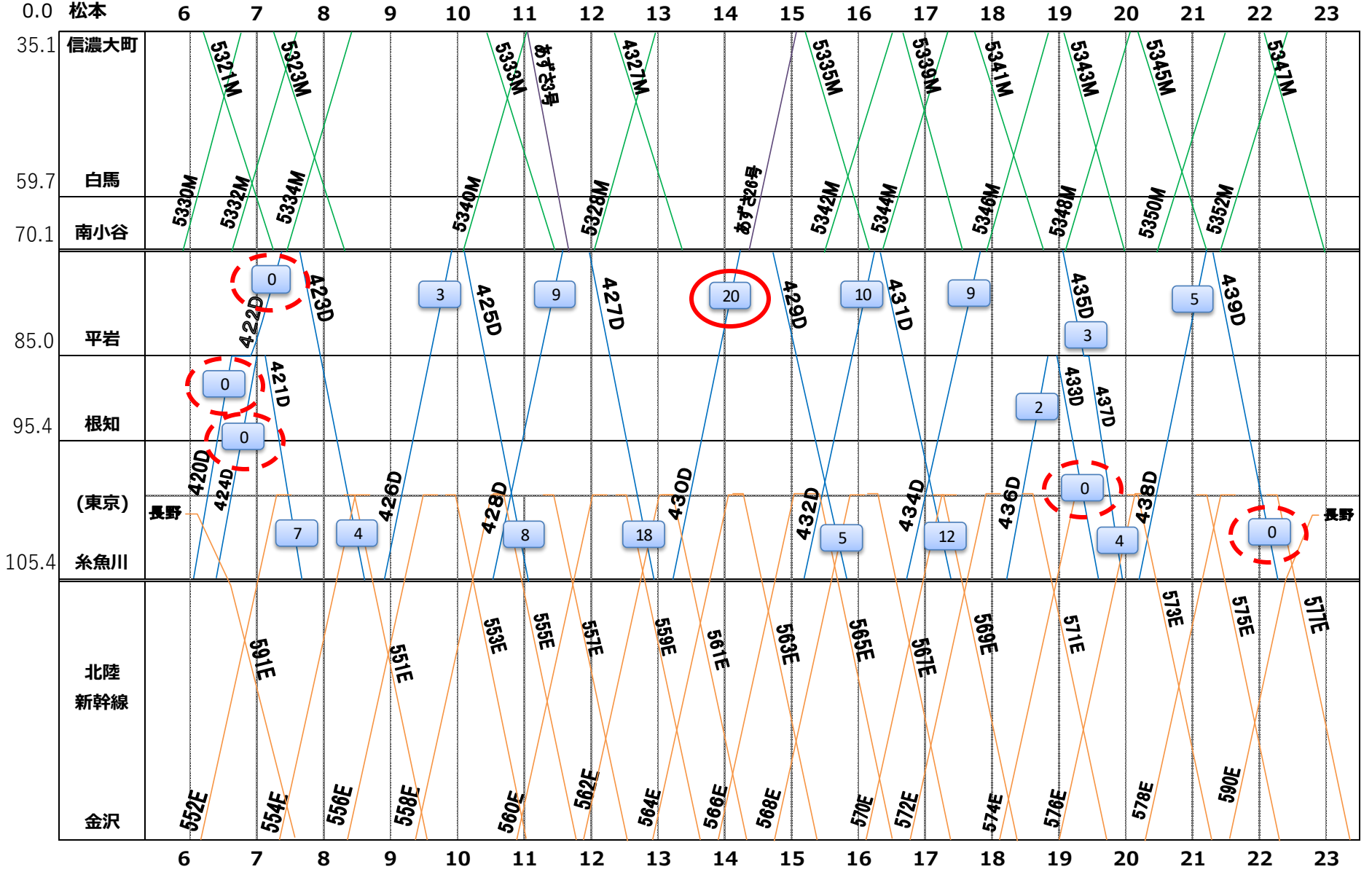


ご利用状況の推移（糸魚川～南小谷）



※ダイヤは2024年改正時点

営業キロ



北陸新幹線金沢開業効果の最大化に向け活性化の取組みを重ねてきた 2019年2月の活性化協議会設立以降、更なる取組を加速

大糸線活性化協議会の取組み

大糸線の持続可能性に関する勉強会

～2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
15・3 北陸新幹線金沢開業	18・11 大阪駅での大糸線沿線観光PR 沿線観光MAP制作	19・11 糸魚川バル街トレイン運行 サイクルトレイン運行	20・12 大糸線応援隊設立
15・4 「駅プラン白馬山麓」販売開始	19・2 大糸線活性化協議会設立	19・10 新潟DC（増便バス運行） 沿線観光MAP制作	20・11 えちごトキめき鉄道観光列車 雪月花乗り入れ運行
16・5 サイクルトレイン開始 花いっぱい運動 大糸線に手を振ろう運動①	19・3 金沢駅で大糸線沿線観光PR	19・11 糸魚川塩の道起点祭 お出迎えなど連携	20・11 湯めぐり手形・MAP作成
17・11 全線開業60周年記念式典 雪月花乗り入れ	19・8 地域との意見交換会	19・10 こども車掌体験列車	20・10 ハロウィン列車運行
	19・5 「糸魚川塩の道起点祭」 お出迎えなど連携	20・2 大阪駅での大糸線沿線観光PR②	20・8 トワイライトエクスプレス 再現車両公開③
		20・8 乗車スタンプラリー	
		20・2 大阪駅での大糸線沿線観光PR②	
		20・3 イベント利用助成	
		20・2 大糸線無料券配布（宿泊）	
		20・1 大糸線フォトコンテスト	

①



②



③



通年の取組み

情報発信の取組み

旅行商品造成

定期券補助、広報・HPなどで利用促進の情報発信、旅行商品造成支援（関西～白馬など）

「西navi」への情報掲載（毎月）、沿線パンフレット作成、「tabiwa by WESTER」など

グリーンリゾートキャンペーン、スノーリゾートキャンペーン（新潟県・長野県連携）など

北陸新幹線金沢開業効果の最大化に向け活性化の取組みを重ねてきた 2019年2月の活性化協議会設立以降、更なる取組を加速

大糸線活性化協議会の取組み
振興部会の取組み = 大糸線沿線の活性化および持続可能な路線としての方策を検討

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
21・9～11 サイクルトレイン運行 大糸線 コラボラリー④	22・8 全線開通65周年記念出発式⑤ ヘッドマークシール掲出(23・3)	23・6 サイクルトレイン運行	24・6～25・3 増便バス運行⑦
21・10～3 幼児とくべつきつぷ	22・9～11 サイクルトレイン運行 大糸線 コラボラリー・幼児切符	23・7 こども車掌体験	24・2 大糸線沿線マインイベント(福井駅)⑥
21・11 雪月花乗り入れ運行④	22・10 こども車掌体験・ハロウィン列車	23・9～11 大糸線 コラボラリー・幼児切符	24・3 北陸新幹線敦賀開業
21・11～12 湯めぐり手形	22・11 雪月花乗り入れ運行	23・10 ハロウィン列車	
	22・11～12 湯めぐり手形	23・11 雪月花乗り入れ運行	
		23・12～24・1 湯めぐり手形	



通年の取組み
情報発信の取組み
旅行商品造成

定期券補助、広報・HPなどで利用促進の情報発信、旅行商品造成支援(関西～白馬など)
「西navi」への情報掲載(毎月)、沿線パンフレット作成、「tabiwa by WESTER」など
グリーンリゾートキャンペーン、スノーリゾートキャンペーン(新潟県・長野県連携)など

2024年5月9日
大系線活性化協議会
大系線利用促進輸送強化期成同盟会
西日本旅客鉄道株式会社

大系線「本格的な利用促進・利便性向上」の取組みについて

大系線活性化協議会、大系線利用促進輸送強化期成同盟会および西日本旅客鉄道株式会社では、北陸新幹線金沢～敦賀開業で利便性が高まる大系線沿線へ、より多くのお客様にお越しいただくことを目的として、下記のとおり連携して事業を実施します。

1. 実施事業について（〔仮称〕北陸新幹線でGo！大系線キャンペーン）

- 利用促進・利便性向上の取組み
 - ・ 旅行商品の造成
 - ・ 謎解きラリーの実施
 - ・ 大系線特設サイトの開設
 - ・ JR西日本媒体等を活用したプロモーションの実施
 - ・ 京阪神・北陸エリアでの駅でのPRイベント開催
 - ・ デジタルチケットの造成
 - ・ 新幹線との接続を考慮したバスによる臨時増便 等

2. 実施時期および内容

別添資料のとおり（別紙1・別紙2・別紙3）

【別紙1】実施時期および内容

1 旅行商品の造成

（1）沿線地域の観光資源をもとにした着地型旅行商品

同盟会

大系線の更なる利用促進を図るため、地域鉄道を基軸として沿線地域の魅力（自然・食・体験）を感じてもらう商品を企画・発売します。

※参考イメージ

(2) 京阪神エリア発着の旅行商品の発売 **事業者**

京阪神を発着し、北陸新幹線・大系線（糸魚川～白馬間、増便バスを含む）及び大系線沿線の宿泊施設をおトクな代金でご利用いただける旅行商品『北陸新幹線で行く信越リゾート』を発売中です。

発売期間：2024年3月22日（金）～

ご利用期間：2024年4月1日（月）～9月30日（月）

※ウィンターシーズン向けの商品造成も検討中です。



2 謎解きラリーの実施 **同盟会**

松本から糸魚川までの各駅・エリアにまつわる謎（ミッション）を列車内および沿線駅、周辺施設などに設定したイベントを実施します。



※参考イメージ

3 大系線特設サイトの開設 **同盟会**

デジタル時代に合わせた大系線全体の観光面での魅力を集約した特設サイトの開設に加え、謎解きラリーや着地型商品など大系線の利用促進に繋がる情報を掲載します。また、サイトへのアクセスを増やすため、検索サイトなどにWeb広告の掲載を併せて実施します。



※参考イメージ

4 JR西日本媒体等を活用したプロモーションの実施 **事業者**

JR西日本が発行する月刊情報誌『西Navi』及び『西Navi 北陸』において大系線沿線の観光スポットやイベント、グルメ、旅情報を掲載するとともに、JR西日本電車内で放映される『WESTビジョン』や主要駅のデジタルサイネージを活用し、大系線のPR動画を放映します。加えて、主要駅にてポスター掲出によるPRも実施します。



※参考イメージ

5 京阪神・北陸エリアでのPRイベント開催 **活性協** **同盟会** **事業者**

北陸新幹線敦賀延伸の効果を最大限に活かすため、京阪神・北陸エリアにおいて大系線沿線の魅力の発信・PRなどを実施します。



R6.2.17 福井駅 PR イベント



R6.3.16-17 つるが街並祭

6 おトクなきっぷ（デジタルチケット）発売 **事業者**

JR西日本の観光ナビ『tabiwa by WESTER』において、糸魚川駅～白馬駅間の鉄道・増便バスがおトクな金額で乗り放題となる周遊バスの発売を予定しています。



※参考イメージ

7 新幹線との接続を考慮したバスによる臨時増便 **活性協**

現行の鉄道ダイヤに加え、JRの乗車券類でご乗車いただけるバスによる増便を行うことで利便性を高め、大系線の利用促進及び沿線地域の活性化に取り組みます。また、利用客の利用実態を調査し、延伸効果やニーズの把握を行います。

実施期間：2024年6月1日（土）～2025年3月31日（月）

実証区間：JR大系線 糸魚川駅～白馬駅間

運行本数：8本／日（4往復／日）

運行ダイヤ：2024年6月1日（土）～2024年11月30日（土）は別紙2
2024年12月1日（日）～2025年3月31日（月）は別紙3
を確認ください。

その他：交通事情等で増便バスに遅延が発生した場合、列車との接続はいたしかねますのでご注意ください。バスが満席の場合は次の列車又は増便バスをご利用ください。

増便バスにおける団体旅客運送の申込は引き受けかねますので、ご注意ください。



※参考イメージ

活性協	大系線活性化協議会
同盟会	大系線利用促進輸送強化期成同盟会
事業者	西日本旅客鉄道株式会社

J R大系線およびJ R大系線増便バス（アンケート）2025年1月 - 2025年2月

19

まとめ

- ・ 冬季(12月-2月)のJ R大系線増便バスのご利用者は、9,756名、1日平均108.4名、1便平均13.5名
※6月-2月のご利用者は、20,311名、1日平均74.4名、1便平均9.3名
- ・ 冬期間は海外からの利用者が7割を占める
- ・ ご利用者の9割以上は観光を目的とした利用
- ・ 観光を目的としたご利用者のニーズは、観光地（山々のスキー場）へのアクセス改善



- ✓ 鉄道とバスを併せても、輸送需要の大幅な改善につながるほどのご利用には至らなかった
- ✓ 少数ながらも頻度高くご利用いただく生活利用者のニーズへお応えしつつ、
観光利用者の利便性向上策として「真の目的地」へのアクセスを更に改善していくことが鍵